



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第3号

令和7年6月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

小さな幸せを集めて 心に綴る

校長 富永 浩文

突然差し出されたのは四つ葉のクローバーでした。2年生の男の子が、運動会の日の朝、登校班の集合場所で摘んできたのです。学校に幸せを運んでくれた気がして、早速ラミネートしてポケットに忍ばせ、運動会に臨みました。あえの風が、やさしく万国旗をはためかせていました。

運動会は、白軍、赤軍団長のリーダーシップと、全校児童の頑張り、保護者の皆様や地域の皆様の応援のおかげで、今年も大成功でした。子どもたちの真面目に一生懸命取り組む姿、全力を出し切ってみがき合った姿が輝きました。5月の空は寛容で、子どもたちが家路につくまで、雨を降らせませんでした。私は、四つ葉のクローバーと、それをくれた男の子に静かに感謝しました。

学校生活には幸せなことばかりではなく、時に色々な問題、辛いことも起こります。私たちは、現実としっかり向き合い、保護者の皆様のご理解、ご協力を得ながら、子どもの幸せのため解決に向けて真摯に取り組んでいます。そのような中でも、私たちの心を癒やしてくれるのが、やはり子どもたちの姿です。子どもたちは、つまずいても立ち上がり、へこたれずにがんばっています。

度々この学校だよりでも紹介しているとおり、私たちは、子どもたちの優しさや心のこもった行い(ハッピー活動)から、幸せのおこぼれを日々いただきます。そして、そ



れを集め、心に綴りながら、生きがいをもって教育活動を行っています。子どもの優しさや豊かさの背景には、対話やふれ合いを基本とした、ご家庭での愛着形成があり、感謝するばかりです。

ある月曜日の午前中、2年生(写真左)の元気な声が、校長室に響きました。「私たちのキュウリがとれました。」「食べてください。」「お塩はいりますか?」「味はどうですか?」皆、私の食べる様子や感想を期待しながら見つめています。お皿に盛られた輪切りのキュウリをじっくり味わって、私はしばし目を閉じ沈黙。そして、「うまい!」子どもたちは大きな声にびっくり。でも、嬉しそうでした。目的を達成した子どもたちは、意気揚々と引き揚げていきました。

その日の午後、今度は6年生(写真右)の元気な声が、校長室に響きました。家庭科の調理実習でつくった塩味がよく効いた、ほろ苦い野菜炒めのおすそ分けでした。それぞれが調理を分担し、協力して作ったという野菜炒めは、幸せの味がしました。「楽しく協力した味がして、とても美味しいよ。」の言葉に、照れながらもキラキラした笑顔がはじけました。「ごちそうさまでした。」の言葉に、子どもたちは、「どういたしまして。」と、力強い言葉を残して、校長室を後にしました。

この日は、子どもたちからの、小さな幸せのおすそ分けがたくさん集まって、幸せあふれる校長室になりました。私はその余韻をジングル(小曲)のように、心の中で繰り返し思い出しながら執務を続けました。デスクマットには、あの四つ葉のクローバー。静かに見守ってくれていました。